



地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



### 長野市権堂町 秋葉神社節分会

去る2月3日、長野市権堂町の秋葉神社節分会で行われた「豆まき」の様様。豆まきに先立って、本殿にて節分追儺祭と祈祷が執り行われました。追儺祭とは鬼や疫病を追い払う儀式のことで「鬼やらい」などとも言われます。豆まきを行う頃には数百人の人々が集まり、いざ始めると寒空に舞う落花生やお菓手に手を伸ばしていました。皆さん、「福」を手に入れることができたのでしょうか。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「2024年の経営見通し」② ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (23) 権堂周辺 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



# 概況 全産業

## 生産は3カ月ぶりの上昇 前年同月比は6カ月連続の低下

### ◇2023年11月の長野県鉱工業指数

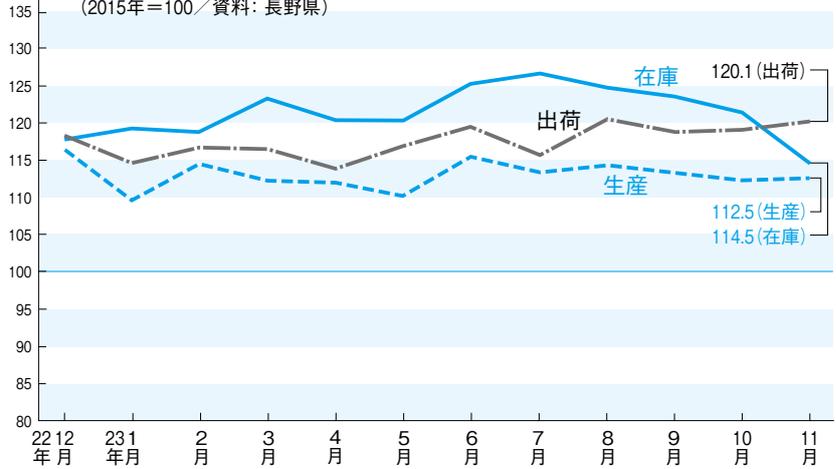
(速報：季節調整済指数)

生産は112.5(前月比+0.2%)で3カ月ぶりの上昇、出荷は120.1(同+0.8%)で2カ月連続の上昇、在庫は114.5(同▲5.7%)で4カ月連続の低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は115.1(前年同月比▲2.7%)で6カ月連続の低下、出荷は120.2(同▲3.4%)で11カ月連続の低下、在庫は118.2(同+2.2%)で9カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…化学、はん用・生産用・業務用機械、金属製品など7業種  
低下…情報通信機械、電気機械、プラスチック製品など10業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品、化学など8業種  
低下…情報通信機械、電気機械、プラスチック製品など9業種
- [在庫] 上昇…金属製品、化学、電子部品・デバイスなど6業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、その他、情報通信機械など10業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は増加

前回調査 2023年11月

#### ◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回(11月調査)に比べ「増

加」割合(36%)が5ポイント増加、「減少」割合(33%)が2ポイント増加、「不変」割合(31%)は7ポイント減少、全体としては増加の状況です。

#### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少  
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	改善	悪化	調査対象
全産業	31.1 →	35.9 ↑	37.3 ↑	31.6 ↓	191社(回収率86.4%) 30人未満 73.8% 30人以上 26.2%
製造業	27.7 ↑	30.8 ↓	41.5 ↑		65社(回収率83.3%) 30人未満 67.7% 30人以上 32.3%
建設業	36.1 ↑	27.8 ↓	36.1 →		61社(回収率88.4%) 30人未満 80.3% 30人以上 19.7%
卸小売業	37.0 ↑	39.1 ↓	23.9 →		46社(回収率97.9%) 30人未満 84.8% 30人以上 15.2%
サービス業	40.0 ↓	60.0 ↑	0.0 ↓		5社(回収率71.4%) 30人未満 60.0% 30人以上 40.0%
輸送業	44.4 ↑	11.2 ↓	44.4 ↑		9社(回収率100.0%) 30人未満 22.2% 30人以上 77.8%
外食業	77.8 ↓	11.1 →	11.1 ↑		9社(回収率90.0%) 30人未満 55.6% 30人以上 44.4%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」食料品・電気機械以外は減少し、全体も減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(28%)が3ポイント増加、「減少」割合(42%)が5ポイント増加、「不変」割合(31%)が8ポイント減少、全体として減少の状況です。

### ●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	24.6	38.5	36.9
	今回	増加 27.7	不変 30.8	減少 41.5
食料品		50.0	14.3	35.7
金属加工		14.3	35.7	50.0
一般機械		12.5	37.5	50.0
電気機械		16.7	66.6	16.7
自動車部品		0.0	33.3	66.7
精密機械		28.6	0.0	71.4

**【業種別】** 増加…食料品  
横ばい…電気機械  
減少…金属加工・一般機械・自動車部品・精密機械

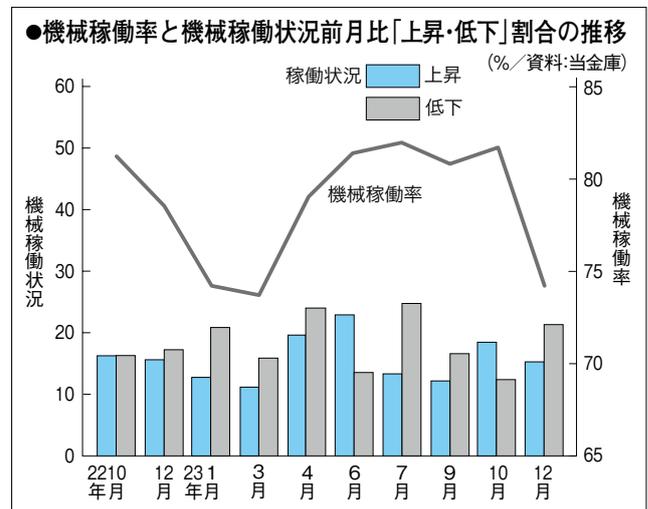
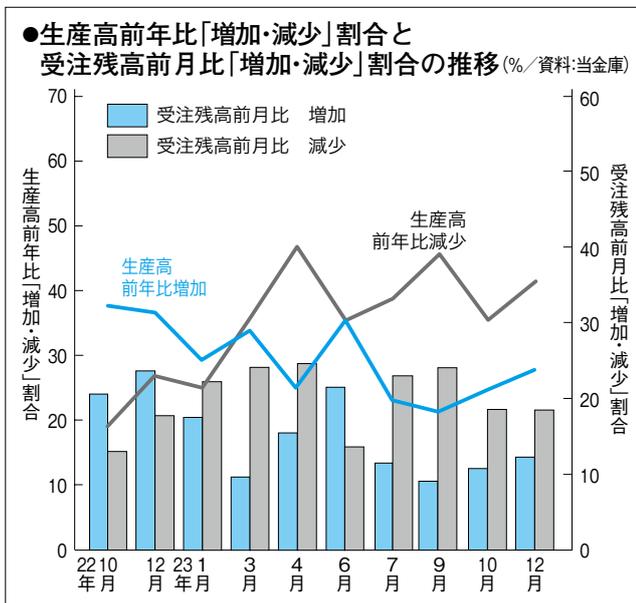
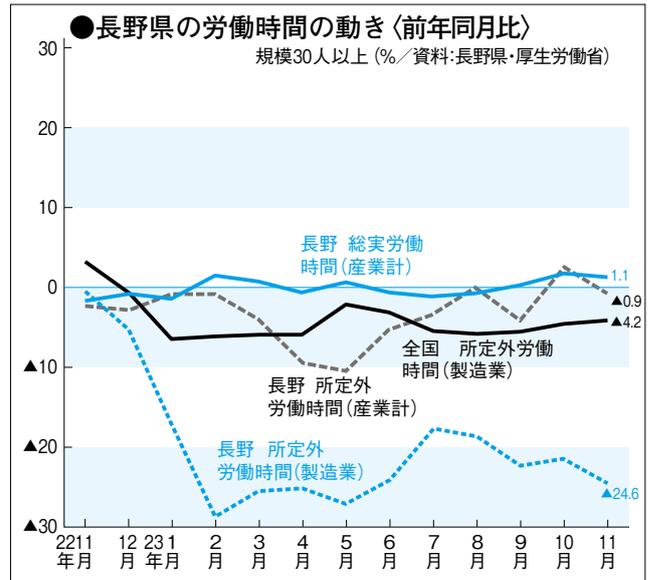
**【機械稼働】** (前回比) 稼働率 下降  
上昇割合 (19%) → 15%  
下降割合 (12%) → 22%

**【受注状況】** 受注量(前回比) 横ばい  
増加割合 (11%) → 12%  
減少割合 (19%) → 19%  
受注残高(1.6ヵ月) → 1.8ヵ月

**【受注基調】** (前回比) 下降  
上昇割合 (20%) → 19%  
下降割合 (19%) → 23%

### 企業からのコメント

- ☆業界全体として、昨年より活発になってきている。特注品のみならず、標準品についても今年は注文が入っている。(金属製品)
- ★電子部品は各メーカーの在庫調整が進まず、発注は様子見状況になっている。(電子部品等)
- ★メーカーの生産(在庫)調整のため、受注が減少しており、春先まで受注の見通しは悪い。(光学製品)
- ★昨年と比較すると、やや受注が少なく感じる。令和6年は、引き続き商品価格の上昇が予定されているので、業績の動向を注視したい。(食品)
- ☆★昨年と比べ売上は上昇したが、原材料や燃料費等の上昇に比べると十分とはいえず、手放しで喜ぶことはできない。今年は、得意先とうまく付き合いながら値上げを適切に実現することが課題になる。(そば)



# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」総合建設・建築が増加し、全体も増加

### 概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(36%)が7割増加、「減少」割合(36%)が2割増加、「不変」割合(28%)が8割減少し、全体としては増加の状況です。

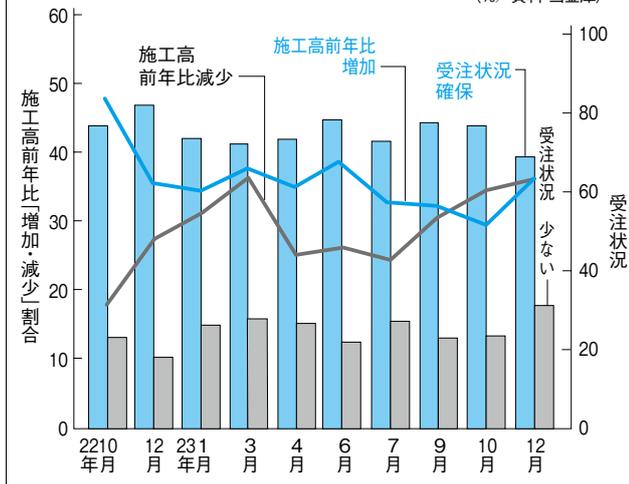
#### ●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	29.5	36.1	34.4
	今回	増加 36.1	不変 27.8	減少 36.1
総合建設業		75.0		12.5 12.5
土木工事業		28.6	21.4	50.0
建築業		26.3	36.9	36.8
各種設備業		36.4	36.3	27.3

【業種別】 増加…総合建設・建築  
減少…土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 減少  
「多い・適正」割合 (77%) → 69%  
「少ない」割合 (23%) → 31%

#### ●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移 (%/資料:当金庫)



### 企業からのコメント

- ★職人不足と資材高騰が当面の課題である。
- ★大手プレハブメーカーが苦戦している中、1月1日に北陸地方で地震が起こり、木造住宅への見方が厳しくなると思われる。(以上、総合建設業)
- ★大型案件の延期や中止が目立ってきている。今年は仕事量が減少して、受注単価も下がることが予想される。(鉄骨鉄筋工事)

### 4～12月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～12月の発注合計は、1,755.5億円(前年同期比+5.4%)となりました。前年比プラスは「市町村」の574.2億円(同+7.8%)、「その他」の385.2億円(同+35.0%)、マイナスは「国」の280.2億円(▲7.5%)、「県」の511.4億円(同▲5.0%)でした。

北信地区市町村の発注合計は205.4億円(同+30.8%)で、うち長野市は90.4億円(同+39.7%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2023年12月/2023年4月～12月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証(株))

		2023年12月	前年同月比	2023年4月～12月	前年同期比
長野県	国	508	▲72.3%	28,020	▲7.5%
	県	2,389	▲30.6%	51,135	▲5.0%
	市町村	4,131	+64.6%	57,417	+7.8%
	その他	957	▲74.5%	38,516	+35.0%
	合計	7,984	▲30.8%	175,550	+5.4%
北信地区	市町村	2,364	+703.8%	20,537	+30.8%
	(内長野市)	829	+484.2%	9,044	+39.7%

### 4～12月の新設住宅着工戸数

長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は8,690戸(前年同期比▲9.9%)でした。持家が4,785戸(同▲7.7%)、貸家が2,532戸(同▲7.9%)、分譲が1,304戸(同▲22.6%)、給与が69戸(同+102.9%)です。

北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,363戸(同▲8.1%)でした。持家が1,256戸(同▲5.1%)、貸家が718戸(同+0.8%)、分譲が383戸(同▲28.1%)、給与が6戸(同+100.0%)です。

#### ●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数 (2023年12月/2023年4月～12月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	12月	504戸	346戸	132戸	2戸	984戸
	前年同月比	▲15.4%	▲4.7%	▲11.4%	▲80.0%	▲12.0%
	4～12月	4,785戸	2,532戸	1,304戸	69戸	8,690戸
	前年同期比	▲7.7%	▲7.9%	▲22.6%	+102.9%	▲9.9%
北信地区	12月	112戸	77戸	44戸	0戸	233戸
	(内長野市)	60戸	49戸	30戸	0戸	139戸
	前年同月比	▲20.6%	▲49.7%	±0.0%	——	▲31.1%
	(内長野市)	▲7.7%	▲51.5%	+3.4%	——	▲28.7%
	4～12月	1,256戸	718戸	383戸	6戸	2,363戸
前年同期比	▲5.1%	+0.8%	▲28.1%	+100.0%	▲8.1%	

## 卸小売業

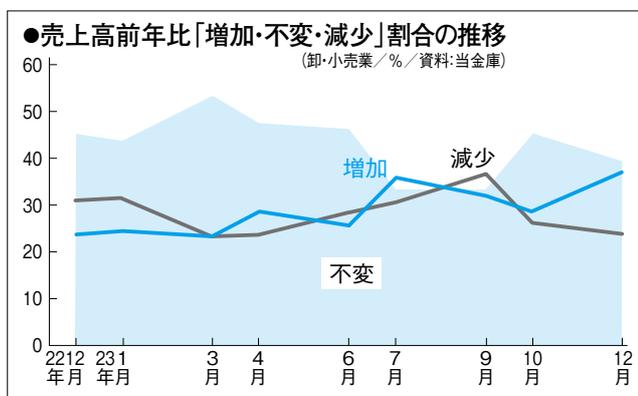
卸売業、小売業

### 「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(37%)が8割増加、「減少」割合(24%)が2割減少、「不変」割合(39%)が6割減少で、全体として売上は増加の状況です。

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	28.6	45.2	26.2
	今回	増加 37.0	不変 39.1	減少 23.9
卸売業		31.6	47.3	21.1
小売業		40.7	33.4	25.9



#### 【業種別】増加…卸売業・小売業

12月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……108.1(前月比▲0.2%)

前年同月比+2.6%(28カ月連続プラス)

上昇…「被服及び履物」「光熱・水道」「交通・通信」  
「保健医療」

下落…「家具・家事用品」「食料」「住居」「教養娯楽」

◇生鮮食品を除く総合指数…107.8(前月比同水準)

前年同月比+2.4%(29カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

- ☆昨年の12月は雪が少なかったため観光客が多く、売上の増加につながった。(土産品)
- ☆★ダイハツの不正問題もあり、軽自動車の動きが鈍い状況。消費者の購買意欲はコロナ禍以前に戻りつつあるように感じている。(自動車小売・整備)
- ☆★年末は雪不足の影響もあって取引先の旅館においてキャンセルもあったが、年明け以降は入込み客が多くあり安定する見通し。(食料・飲料)
- ☆コロナが5類になったことで人の動きが元に戻りつつあり、売上に変化が出てきている。(和洋菓子)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスは増加、輸送は横ばい、外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は10割減少の40%、「減少」割合は17割減少の0%、「不変」割合は27割増加の60%と、売上は増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は7割増加の44%、「減少」割合は7割増加の44%、「不変」割合は14割減少の11%と、売上は横ばいの状況。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は10割減少の78%、「減少」割合は11割増加の11%、「不変」割合は1割減少の11%と、売上は減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比97割の増加、前年同月比もほぼ倍増で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前月に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は19割減少の38%、「引合いやや増加」は13割増加の13%でした。

#### 企業からのコメント

- ☆忘年会需要が戻り年末は満室だった。動きが鈍かったインバウンドも、冬になってから雪を見に多数来日いただいた。(旅館)
- ☆住宅の購入希望者が増加しており、ハウスメーカーは常に土地を探している状況である。(不動産)
- ☆★インバウンド需要や年末の忘年会の需要が多くあり、売上は増加したが、ドライバー不足により供給が間に合わず苦戦している。(タクシー)

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	33.3	16.7
	今回	増加 40.0	不変 60.0	減少 0.0
輸送業	前回	37.5	25.0	37.5
	今回	44.4	11.2	44.4
うちタクシー業		100.0		8.8
うち運輸業		28.6	14.3	57.1
外食業	前回	87.5		125.0
	今回	77.8	11.1	11.1

北信地区の景気判断 ▲23 [良い]11% [悪い]34%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期は分からない」40%

アンケート  
2024年の経営見通し ②  
2023年12月調査

北信地区の景気判断 [良い]11%、[悪い]34%の景気判断D・Iは▲23で、昨年の+56より79ポイント悪化しています。

自社の業況が上向く転換点 「すでに上向いている」は4%で、「業況改善の時期は分からない」は40%となりました。

た北信地区景気判断D・Iは▲23となり、昨年(+56)より79ポイント悪化しています。

従業員規模で見ると、30人未満の▲29([良い]8%・[悪い]37%)に対して、30人以上は▲6([良い]20%・[悪い]26%)となりました。

北信地区の景気判断

昨年より79ポイント悪化 +56 → ▲23

「北信地区の景気を、どのように感じているか」を聞きました。

全産業では、「良い」(0%)と「やや良い」(11%)を合算した[良い]は11%、「やや悪い」(29%)と「悪い」(5%)を合算した[悪い]は34%、「どちらともいえない」は54%でした。[良い]から[悪い]を引い

業種別

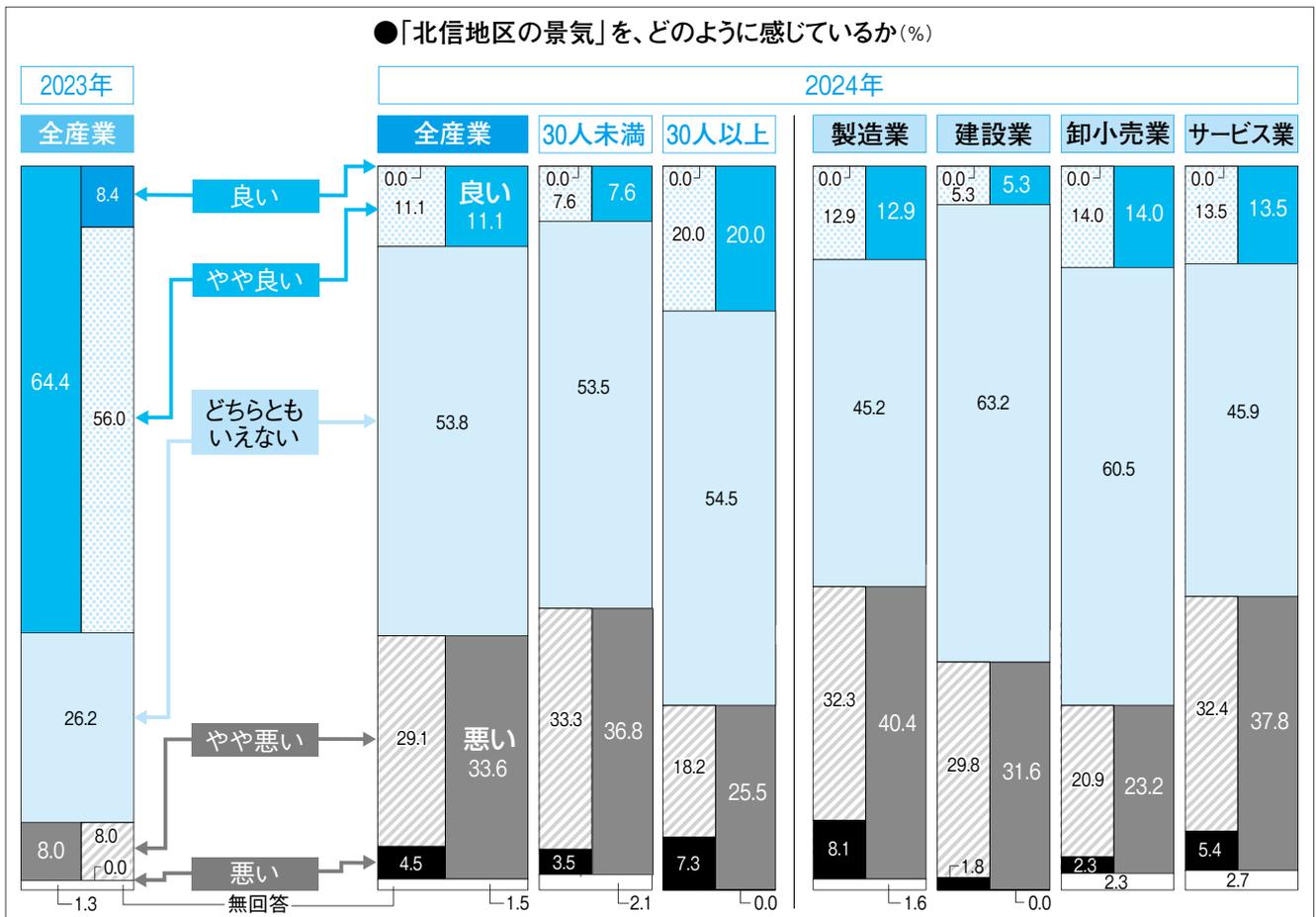
全産業より低いのは製造業・建設業・サービス業

◇4業種(全産業比)

製造業 [良い]13%、[悪い]40%の景気判断D・Iは▲28で、30人未満が▲40、30人以上が▲8です。

建設業 [良い]5%、[悪い]32%の景気判断D・Iは▲26で、30人未満が▲33、30人以上が+11です。

卸小売業 [良い]14%、[悪い]23%の景気判断D・Iは▲9で、30人未満が▲17、30人以上が+25



です。

**サービス業** [良い]14%、[悪い]38%の景気判断 D・Iは▲24で、30人未満が▲22、30人以上が▲29です。

業況が上向く転換点

「改善の時期は分からない」40%に

「自社の業況が上向く転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業では、「すでに上向いている」が4%、「6カ月以内」は16%、「1年後」が13%、「2年後」が3%、「新型コロナウイルス収束以降」が16%、「上向きは困難」が6%、「業況改善の時期は分からない」は40%となりました。

従業員規模で見ると、「新型コロナウイルス収束以降」は、30人未満10%に対して30人以上29%の19割差、「すでに上向いている」は30人未満5%、30人以上2%の3割差、「1年後」は30人未満13%、30人以上15%の2割差となりました。「分からない」は30人未満45%に対して30人以上27%の18割差となりました。ほかは僅差です。

業種別

「すでに上向いている」サービス8%～建設0%

◇4業種(全産業比)

**製造業** 「6カ月以内」(21%)、「1年後」(18%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「上向きは困難」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

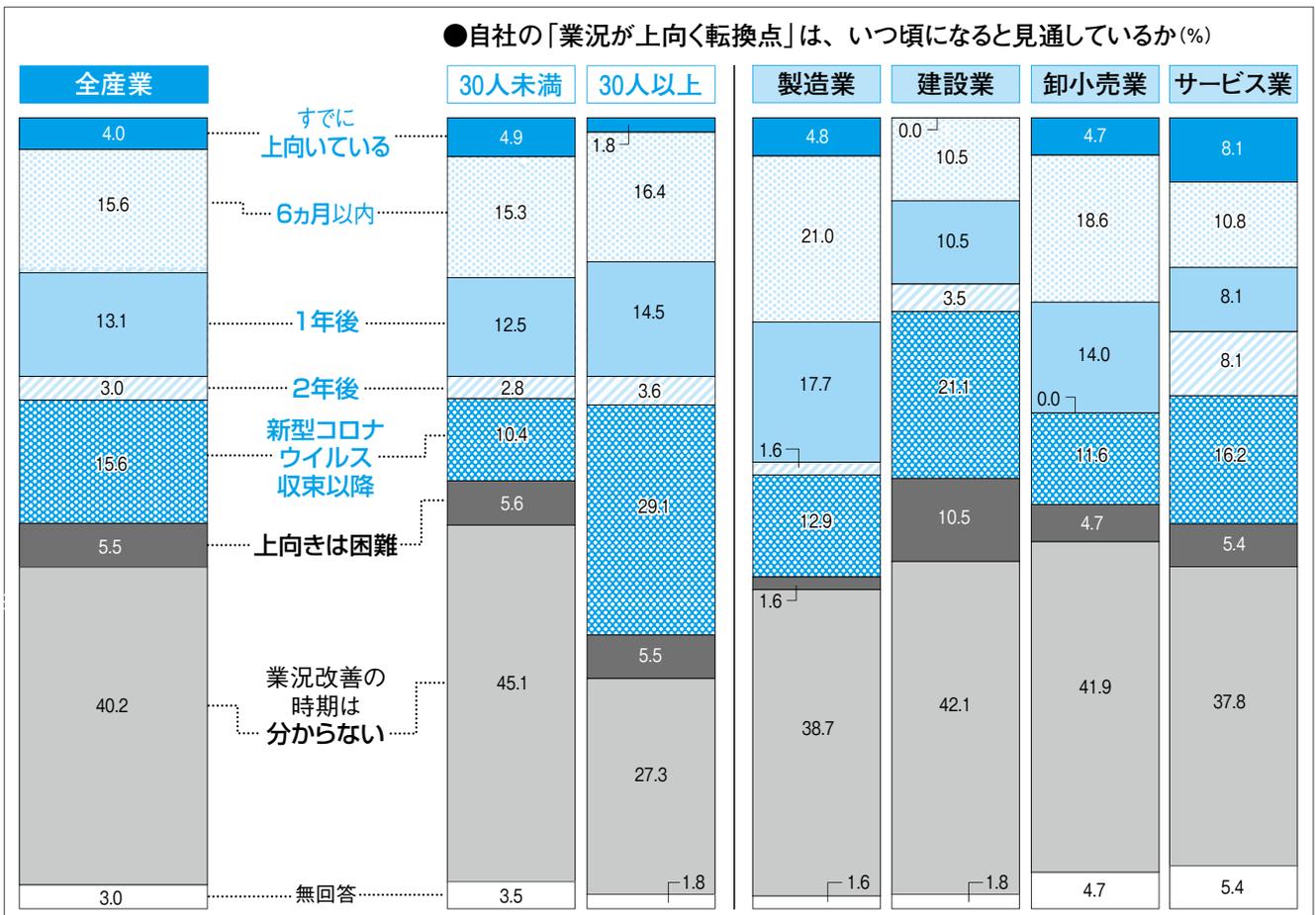
**建設業** 「分からない」(42%)、「新型コロナウイルス収束以降」(21%)、「上向きは困難」(11%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「すでに上向いている」(0%)、「6カ月以内」(11%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「新型コロナウイルス収束以降」(12%)、「2年後」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「すでに上向いている」と「2年後」はともに8%で、他業種に比べ最も高くなりました。他方「分からない」(38%)と「1年後」(8%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取り組みたい経営課題」を予定



## 大切な役割を担わせていただく 自負を持ち、お客さまの満足を追求

株式会社 若穂鉄筋工業  
代表取締役 木戸 智幸さま

### ●創業の経緯をお聞きます…

当社は、私が小学校高学年だった1983年（昭和58）に父が設立しました。その約10年後、県外の住宅関連の企業に就職し営業職をしていた私は「将来は会社を継ぐのかな？」という気持ちはありましたが、当時は先を見据えてという考えはなく、長野を出て好きなことをやってみたいという意識の方が強かったように思います。

数年間県外で働き、25歳のときに、父から「そろそろ長野に帰ってこないか」と言われ、悩みましたが決断し当社に入社しました。入社してからはとにかく勉強をして業務に必要な資格を取得し、徐々にではありましたが鉄筋業務の奥深さを知り、また、仕事の楽しさを知ることになりました。

2006年（平成18）に、父が代表を退き、当時の専務が社長に就任し会社を切り盛りしました。13年経ったところで、その方から代表を退きたいとの申出があり、私の気持ちの中に会社を残したいという強い気持ちがありましたから、2018年（平成30）に継承し代表に就任しました。

代表となった当時、先代のころとは世の中も変わり、元請け様からの要望も変わってきていましたので、それに応えられるように当社の姿勢も変えていかなければと感じていました。継承前は長い間、協力業者の「ひとり親方」を抱えていました。その方々は非常に技術力が高く、私も現場でその方々の施工を見て勉強しました。その親方もひとり、またひとりと引退し、現在では職人（人手）不足の悩みを抱えています。

その対策として、現在の従業員の定着を図らなければと考え、代表の私が意識を変えるよう

にしました。例えば、従業員の資格の取得に向けて会社が全面的にバックアップすることなどです。現在では1級建築士、1級建築施工管理技士、鉄筋1級技能士などの資格を従業員の半分以上が取得しています。また、私自身が従業員と対話し意見を聞くことで、全員のチカラで元請け様からのリクエストに応えられる体制づくりに努めています。従業員の意識もだいぶ変化してきたように感じられます。

### ●事業の概要をお聞きます…

鉄筋の小売り販売、加工・現場での施工になります。創業時から多くの従業員のほかにベテランの「ひとり親方」も抱えていましたので、大型物件や他社ではできない難しい工法を取り扱うことができたことが、他社との差別化になり業績を伸ばしてきた要因ではないかと思えます。

昨今の業務は私が入社したころより進化し、あらゆる面で機械化が進み効率が良くなりました。まず、建物の図面に沿って使用する鉄筋のサイズや形状、数量を積算して施工図面をつくります。その際、鉄筋を並べる順番や組み方によって強度も変わりますので、適切に組むことが重要になります。端から見ていると簡単そうに見えますが、“あやとり”のように複雑ですのでやはり経験が必要になります。

建造物が完成すると解体するまで鉄筋は人の目に触れません。しかし、建物の寿命を左右する重要な部分になりますので、コンクリートを流し込む前には検査員による厳しい検査を受け、指摘があれば速やかに是正します。2005年に起きた「姉歯事件」後に、検査がより厳しくなりました。

鉄筋は、ビルや橋梁、トンネルや高速道路など、さまざまな建設工事に用いられるため、需要も高く今後も無くなることのない職種だと思っています。長野県内の鉄筋業務も仕事量が増えて上向きになっています。だからこそ大切な役割を担わせていただくという気持ちを忘れず、お客さま満足度の高い工事を追及していきたい

と思っています。

●コロナ禍の影響についてお伺いします…

売上が落ち込むといったマイナス面はありませんでした。プラス面ですが、コロナ前は事前の打合せの際に何度も現場に足を運んでいたのですが、オンラインでできる場合もあることが分かり、時間の有効活用ができるようになったことです。今後は、この流れが定着していくと思っています。

●今後の夢や方針をお聞かせください…

昨今の原材料価格高騰の影響で私どもの工賃も上がれば良いのですが、完全には価格転嫁ができておらず、この点が課題だと考えています。

また、現在の従業員の平均年齢は40代後半とはいえ、次第に高齢化が進んできていますので、若年層の従業員確保も課題です。私たちの業種は、いわゆる“3K”と言われる業種になりますから、求人を出してすぐに集まることは考えていません。しかしながら、できるだけ「働き方改革」を行い、若者が働きやすい環境の整備に努めています。このほか、協会の主催で1年に



本社

1回、工業高校の生徒に鉄筋業に興味を持ってもらえるよう「出前講座」を行っています。

代表になって5年。「現状維持」の大切さを感じています。現状維持をしながら、そこで生まれたプラス面を伸ばしていこうと考え、基本は鉄筋工事業ですが、視野を広げて他分野の事業にも眼を向けようと考えています。



現場の様子

●事業の概要

資本金 1000万円  
代表者 木戸智幸  
従業員 22名(男19名・女3名)  
業 務 鉄筋加工、鉄筋工事  
事業所 長野市大豆島3397-12  
U R L <https://www.wakatetsu.jp>

●沿革

1983年(昭和58)年 (有)若穂鉄筋工業 設立  
1992年(平成4)年 現在地に第1工場を設立  
1994年(平成6)年 (株)若穂鉄筋工業に組織変更  
2006年(平成18)年 長野市大豆島3397-46に第2工場を設立

# 北信濃 明治時代の風景

## (23) 権堂周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



これは明治14年(1881)に出版された「善光寺長野町図」の権堂周辺の部分です。右上が北です。

### 表権堂と裏権堂

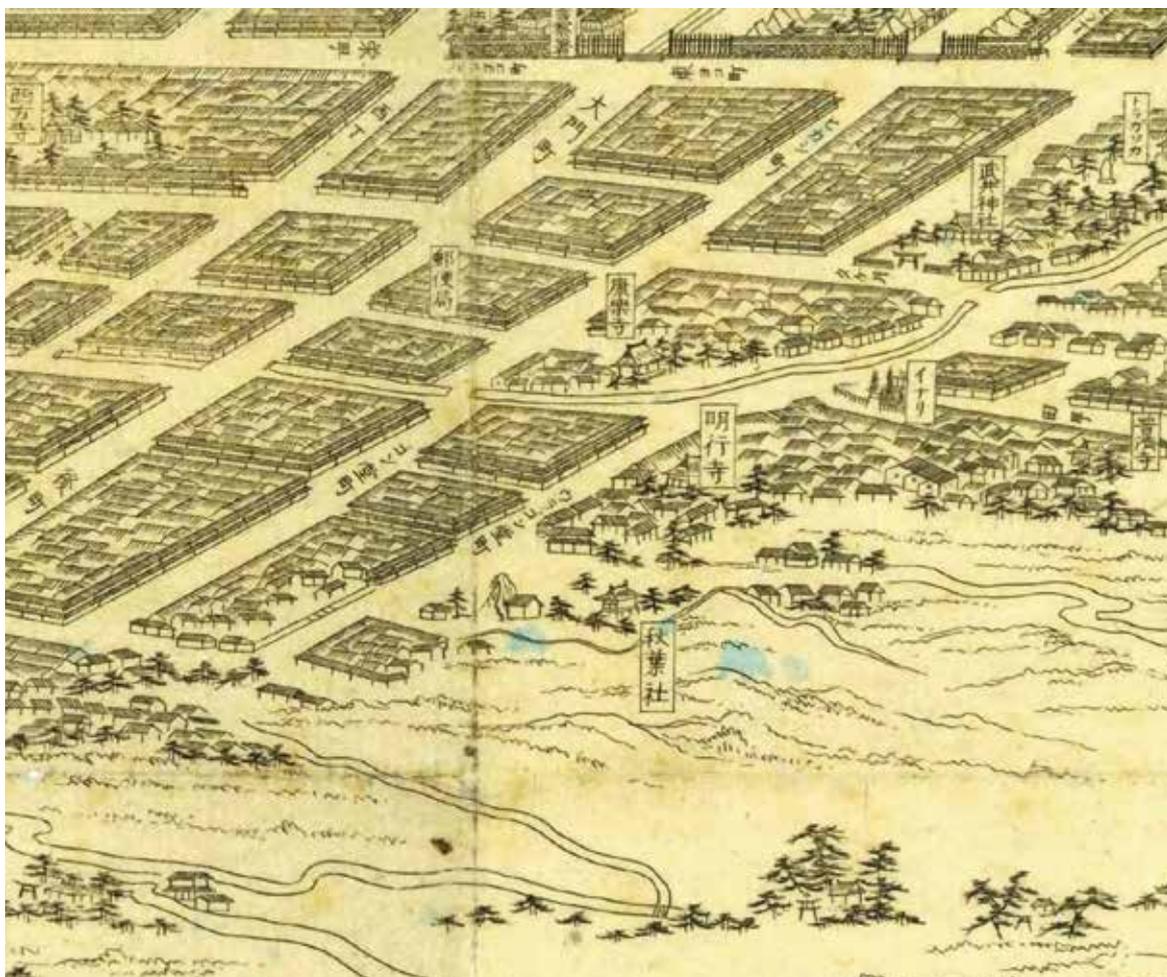
江戸時代の権堂村は幕府領(天領)で、現在の権堂町を中心に田町、柳町、西鶴賀町、東鶴賀町、居町にまたがる広い範囲でした。この図では「ゴン堂町」と「ウラゴン堂町」が現在の権堂町です。現在は権堂町といえば東西に延びるアーケード通りを思い浮かべますが、本来の権堂町は南北の2本の通りなのです。

「ゴン堂町」とあるのは東町から南に続く通りで、表権堂と呼ばれています。現在も権堂郵便局があって、権堂村名主の永井氏はその向かい側に住んでいました。権堂の中心はその辺りだったのです。表権堂の東側の、明行寺のある通りが裏権堂です。

表権堂と裏権堂は江戸時代からの花街で、水茶屋と呼ばれる遊女屋が建ち並んでいました。

### 遊廓道路

明治11年(1878)、権堂の東方に鶴賀新地とも呼ばれた長野遊廓が新設されました。この図では「ウラゴン堂町」の「町」の字付近から東方(右)に曲がりくねった道が延びていますが、これは権堂と鶴賀新地を結ぶために造られた道路です。この道が現在の権堂アーケード通りなのですが、この図のように当初は直線ではなく、東方で大きく蛇行して遊廓につながっていました。これは遊廓は町と一定の距離がなければならぬとされたため、距離をかせぐためにわざと道を曲げてあったのです。しかしこの遊廓道路は、間もなく現在のように一直線に直されました。この道路は裏権堂が起



「善光寺長野町図」の権堂周辺

点でしたが、大正2年(1913)に中央通りまで延長されて、現在のアーケード通り(相生町通り)が完成しました。

### 秋葉神社

この遊郭道路の南側に「秋葉社」が描かれています。これは権堂の産土神の秋葉神社です。権堂の秋葉神社は、文政年間(1818~29)に遠州の秋葉山から勧請されたと伝えられています。最初は往生院の境内にありましたが、弘化5年(1848)に裏権堂に移り、慶応2年(1866)に現在も使われている社殿が完成しました。



裏権堂にある明行寺

ところが遊郭道路ができる

と境内の北側が削られ、明治23年(1890)に裏権堂と長野駅を結ぶ三線路(千歳町通り)が開通すると今度は西側を削られて、境内が狭くなってしまいました。そこで明治31年(1898)に東方に移転して、現在に至っています。

### 明行寺

裏権堂に「<sup>みょうぎょうじ</sup>明行寺」が描かれています。戦国時代の天正元年(1573)に開かれたという真宗大谷派の寺院で、善光寺七寺の1つにも数えられています。元はもっと西にありましたが、文政年間に現在地に移転しました。門前の裏権堂と表権堂を結ぶ道を明行寺大門通りといい、アーケード通りが無かった時代は表権堂と裏権堂を結ぶ大事な道でした。

### 田町

権堂の北東に東西の「田町」(田町)の通りがあって、「イナリ」と「普濟寺」が描かれています。ここは権堂村の一部ですが、表権堂・裏権堂とは別の市街なので、田町と呼ばれてきました。北に隣接する三輪村の田町を三輪田町と呼ぶのに対して、こちらを権堂田町と言う場合があります。

田町と旧北国街道の横山を結ぶ道路<sup>たごころちやう</sup>田所町が明治時代末に新設され、大正12年(1923)に平林街道が開通すると、田町はその起点として交通の要地となりました。現在も長野大通りと国道406号が交差する田町西交差点があります。

### 田面稲荷

「イナリ」とあるのは、田町の産土神の<sup>たづら</sup>田面稲荷神社です。権堂村は江戸時代前期に尾張徳川家の分家の領地だったので、その陣屋にまつられていた稲荷社だという説があります。江戸時代の地図に「デンヤイナリ」と書いてあるものがあるからです。弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失して、明治13年(1880)に社殿が再建されました。

### 普濟寺

「普濟寺」も田町にある曹洞宗の寺院です。元は現在の長野市中条<sup>くさかの</sup>日下野にありましたが、延享3年(1746)に権堂村に移ったといわれます。この図の時は現在地の300メートルほど西にありましたが、明治40年(1907)に移転しています。善光寺の仁王門は明治24年(1891)に焼失してしまったため、明治45年(1912)の御開帳では飯山で制作された露座の仁王像が仁王門跡に安置されました。御開帳後この仁王像は普濟寺に引き取られました。昭和11年(1936)に長野市信更町安庭の真竜寺に移されました。それを平成23年(2011)に飯山市が譲り受け、修復されて現在は飯山市で公開されています。

3月号は「善光寺東方」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい

◆日常生活の「悩みや不安」

「感じている」68% 「感じていない」22% 「分からない」11%

「日常生活の中で、悩みや不安を感じているか」を聞きました。

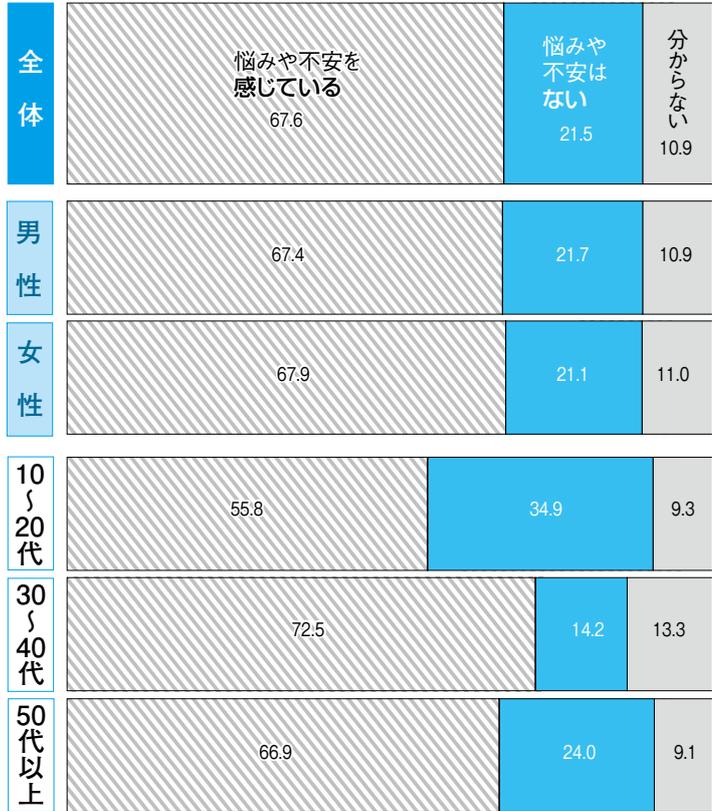
「悩みや不安を感じている」と答えた人は68%、「悩みや不安はない」は22%、「分からない」は11%でした。

男女別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は、男性67%、女性68%の1%差、「悩みや不安はない」は、男性22%、女性21%の1%差、「分からない」は男性・女性ともに11%となっています。

世代別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は、10～20代56%、30～40代73%、50代以上67%となっています。「悩みや不安はない」は、同様に35%、14%、24%となり、働き盛り・子育て世代である30～40代で「悩みや不安を感じている」人の割合が最も高くなっています。

〈当金庫・2023年12月調査〉

●日常生活の中で「悩みや不安」を感じているか (%)



●みなさまの税務相談のご案内 [3月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
3月 6日 水	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	3月 19日 火	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)
7日 木	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	22日 金	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 金	大豆島支店 (長池支店)		25日 月	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
12日 火	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	26日 火	本店営業部	
13日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日 水	本 部	
18日 月	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	28日 木	本 部	

